

新任職員紹介

3月に短期大学を卒業し、4月から園で働いています。

慣れないことが多く不安ですが、皆さんと関わりながら早く園の生活に慣れるよう頑張ります。大好きな食べ物は豚骨ラーメンです。食べることが大好きです。社会人1年目、子どもたちとともに伸び伸びと成長していきたいです！



以前は、障害のある子どもの入所施設で働いていましたが、今年度より児童園でお世話になります。子どもたちの特性も異なるので慣れるまで時間がかかると思いますが、頑張ります。よろしくお願いします。



子どもと関わる中で、コロナ禍での新しい生活様式におけるメリハリのある支援が必要だと感じています。3密の回避は、多感な時期を過ごす子どもにとって、ストレスに繋がることと思います。その中で、愛着を育めるよう園の方針で取り入れている愛情の器モデルとして受容から意欲へのエネルギー形成に、一人一人の興味を促しながら関わっていきたくと思います。



今年度は、3名の新任職員に加え、3名の女性職員が産休育休から復帰し、計38名の職員で子どもたちを見守っていきます。職員が増え、なんだか賑やかな雰囲気でのスタートです。

開園記念祭

6月4日に開園記念祭を行いました。松本児童園は今年で開園74周年を迎えました。地域の皆様に支えていただきながら、子どもたちは日々すくすくと成長しています。いつもありがとうございます。

コロナ禍のため、開催形態を工夫し、2年ぶりに開園記念祭を開催しました。例年のように地域の皆様をお招きすることはできなかったため、お世話になっている地域の皆様に感謝の気持ちを込め、園周辺のゴミ拾いを行いました。その後、職員が屋台を出し、園庭で昼食を食べました。開園記念祭といっても、まだお祭り状態とはいきませんね。でも、久しぶりに一同が会える行事だったため、子どもたちは楽しみにしていて、朝からうきうき気分でした。そんな子どもの姿を見て、少しいつもの日常が戻ったかな、そして子ども全員の顔を見てなんだかうれしい気持ちになりながら過ごしたひと時でした。



ゴミ拾い
頑張ったね!!



職員も屋台
頑張りました!!



地域の皆様に支えられ、無事に1年間生活することができました

ぽぷらの木 特集



ご飯の時間が
楽しみ!!



楽しかったことランキング

1. BBQ
2. 誕生日会、おやつ作り
3. ハロウィンパーティー
クリスマスパーティー
花火



BBQ

ハロウィンパーティー
『ぽぷらの館』に大変身



クリスマスパーティー
サプライズでサンタさん登場!?



地域小規模児童養護施設の開設は初めての取り組みで、職員にとっては手探りの1年でした。

コロナのため地域の中に出て行く機会が少なく、地域の中で子どもを育てるという醍醐味を生かしきれない1年だったように思います。そんな中でも、休日に近隣の公園に遊びに来た親子の輪の中に入れてもらったり、おつかいで西友に買い物に行くことが当たり前になったりと本体施設より開けた環境の中で生活することができました。回覧板を回す、地域にゴミを出しに行くなども子どもたちにとっては初めての経験でした。また、ぽぷらの木では勤務職員がメニューを考え、食材の買い出しから調理まで行います。学校から帰ってきた第一声で「今日の夕食なに〜?」という子どもの声が響きます。手作りおやつを出すと大喜びです。一般家庭では当たり前のことですが、子どもたちにとっては新鮮なことでした。「おいしかったよ」と気持ちよく声を掛けてくれる子どもたち。そんな子どもの姿に励まされ、職員も日々栄養満点で美味しい食事作りを目指し、頑張っています!!この恵まれた環境のおかげで子どもにも変化があり、誰一人病気になることなく学校に通うことができ、精神的に落ちついた1年を過ごすことができました。

そして、2年目突入!! 女の子6名、それぞれ1つ進級し、同じメンバーで生活します。まだまだコロナ禍ではありますが、地域の中に積極的に出て行きたいと思っておりますので、仲間に入れていただき、子どもの成長を一緒に見守っていただけると嬉しいです。

